

単元にかかる児童の実態	単元計画	
<p>本学級の児童は入学後のスタートカリキュラムを中心にした合科的、関連的な活動を通して学校生活に慣れ、元気に楽しく生活できるようになってきた。ほとんどの児童が担任や友だちの名前を覚え、学校生活のおよその流れが分かってきたという段階なので学校のどこにどんな教室があり、どんな人がいるかの理解はまだ限定的である。みんなで学校巡りをしたり2年生と一緒に遊んだりして学校の施設や人に対して興味関心をもち、もっと知りたいという思いを深めているところである。</p>	◎学習課題 ○まとめ	◆各時間終了後の児童の姿
単元のゴール	1 ・ 2	◆学校の施設や人に関心をもち学校生活に必要な場所や、安全に気をつける場所などに気付くことができるようになる。
<p>学校の施設や通学路の様子および学校生活を支えている人々や友だちのことが分かり、楽しく安心して遊びや生活ができるとともに安全な登下校ができるようにする。</p> <p>【知識及び技能の基礎】 学校での生活は様々な人や施設とかかわっていることが分かる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力などの基礎】 学校の施設の様子や学校生活を支えている人々や友だち、通学路の様子やその安全を守っている人々などについて考える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性など】 楽しく安心して遊びや生活をしたり、安全な登下校をしたりしようとする。</p>	3 ・ 4	◆校庭の施設などに関心をもち学校生活に必要な場所や、安全に気をつける場所などに気付くことができるようになる。
主体的・対話的・深い学びに向けて	5 ・ 6	◆安全に学校生活を送るためのルールやマナーがあることやその大切さに気付き守ろうとしている。
主体的な学びの実現に向けて	7 ・ 8	◆教室や施設にはそこにはしかないものがあることに気付き、もっと知りたいと思うことを考えている。
<p>・校内をみんなで廻る、2年生に案内してもらい、自分たちで探検するというように繰り返し探検したり、様々な人と接したりして対象と何度も関わる活動を設定し興味や関心を喚起し、進んで取り組めるようにする。体験の後にはそれをカードなどで表現し友だちと振り返ることで自身の学びを自覚できるようにする。</p>	9 ・ 10	◆自分が興味をもった場所に行きそこにある物や役割について調べ、学校の施設の様子について気付くことができる。
対話的な学びの実現に向けて	11 ・ 12	◆春の校庭の様子や動植物に関心をもち、探したり関わったりできる。
<p>・探検で見つけたことや考えたことなどを表現し伝え合ったり交流したりする場（見つけたよコーナーや発表会など）を設ける。それによって比べたり関連づけたりしながら活動を広げ新たな気付きが得られるようにする。</p>	13 ・ 14	◆人への接し方やマナーなど考えて行動できる。自分たちの学校生活を支えている人々の存在や働きがわかる。
深い学びの実現に向けて	15 ・ 16	◆前時までの活動を振り返り、伝えたいことを考え発表できる。学校の施設や人、友だちのことがわかり、楽しく安心して生活が送れる。
<p>・これまでの学びで得た気付きに加え、渋沢栄一に関わりのある物や掲示があることにも注目させ、全体を大きな絵地図にまとめながら八基小の特色にも気付かせるようにする。そうすることで、学校に愛着をもち、前向きに生活できるようにさせる。ふるさと教育に関連づけ栄一との最初の出会いになるようにしたい。</p>	17 ・ 18	◆通学路の様子に関心をもち、危険な箇所や安全を守ってくれる施設や人々の存在に気付き、ルールやマナーを守って安全な登下校ができる。

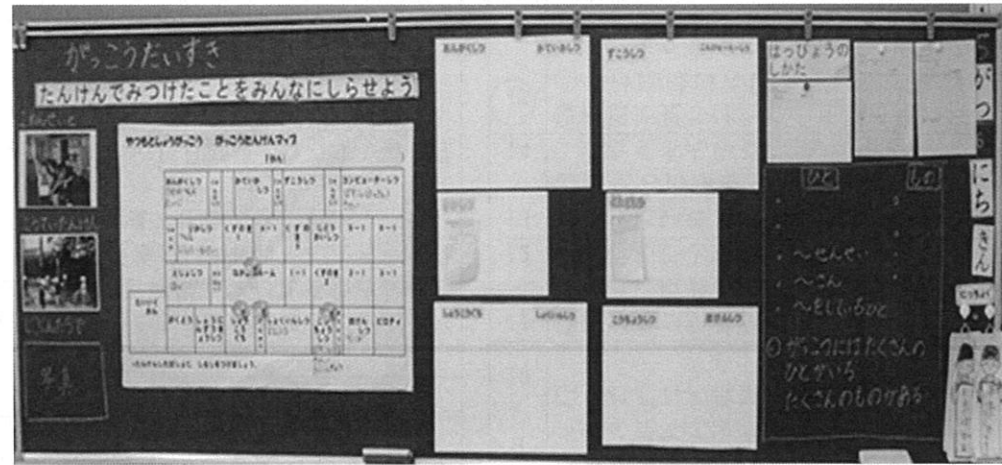
前時までの概要

これまで児童は①みんなで一緒に並んで学校を巡る。②2年生と一緒にの班でまわり、いろいろな部屋の役割や使用の注意など教えてもらう。③もっと知りたいと思った場所へ自分たちだけで探検に行き調べてくる。など繰り返し対象と関わる活動を行ってきた。同時にそこにいる人に自己紹介をしたり話を聞いたりいたりして学校にいる人との関わりも増やしてきた。その都度どんなことを見つけたかを発表したり、カードに書いていたりしているが、現在は平仮名の練習中なので文に表すのは難しく、絵に表し、教師が聞き取って文を添えるなどしてきた。

本時の目標

探検で見つけたことを伝え合い、学校の施設や人のことを理解する。

板書計画



本時の評価と今後の展開

○評価
前時までの活動を振り返り伝えたいことを考え、発表している。(思考・表現)

○今後の展開
学校の外に目を向けさせ、教師の引率のもとで学校のまわりを歩く。
通学路の様子に関心をもち、安全に登下校するためのルールやマナーを守って行動することができるようにする。

本時での主体的・対話的で深い学びに向けて

本時の指導にあたってはこれまでの活動を写真や記録のカードなどで振り返り、発見したことなど話し合う中で自分が伝えたいことを明確にさせ、発表への意欲を持たせたい。どんな発表方法があるか考えさせ、様々な伝え合いの方法を認めながら主体的に取り組めるようにする。また黒板などに掲示する際には意図的に地図にまとめたり分類したりして児童の思考を促し気付きの質を高めたい。そして児童の発表を手がかりに児童の思いや気付きを引き出すような問いかけをし、自覚化させそれを共有できるようにしていきたい。

本時の流れ (授業スタンダード)

目標・ねらいの提示	自分で考える活動	仲間と学び合う活動	学んだことを実感させる
1 これまでの学習を振り返る。 2 課題を知る。 3 どんな知らせ方があるか考えさせ、様々な伝え合いの方法を認めながら主体的に取り組めるようにする。また黒板などに掲示する際には意図的に地図にまとめたり分類したりして児童の思考を促し気付きの質を高めたい。そして児童の発表を手がかりに児童の思いや気付きを引き出すような問いかけをし、自覚化させそれを共有できるようにしていきたい。 【指導上の留意点】 ・何種類か見本を示し、見通しをもって活動できるようにする。	4 自分で決めた伝え方で発表のカードを作る。 5 カードをもとに発表の練習をする。 【指導上の留意点】 ・戸惑っている児童には対話や質問をしながらこれまでの活動を思い出させ、伝えたいことや気付きが引き出せるように支援する。 ・発表の仕方を提示して意識させる。	6 探検で見つけたことを伝え合う。 7 みんなの発表で出来上がった絵地図を見て思ったことや分かったことを発表する。 【指導上の留意点】 ・話し手の目を見て聞くなど話の聞き方の約束を守るようにさせる。 ・児童が進んで発表できるように受容的な雰囲気をつくる。また児童の思いや気付きを共感的に受け止め称賛することを大切に。	8 本時の振り返りをし、新たに伝えたいことを考える。 【指導上の留意点】 ・学校には様々な施設があり、多くの人がいてくれ、楽しく安心して生活できることを実感させる。